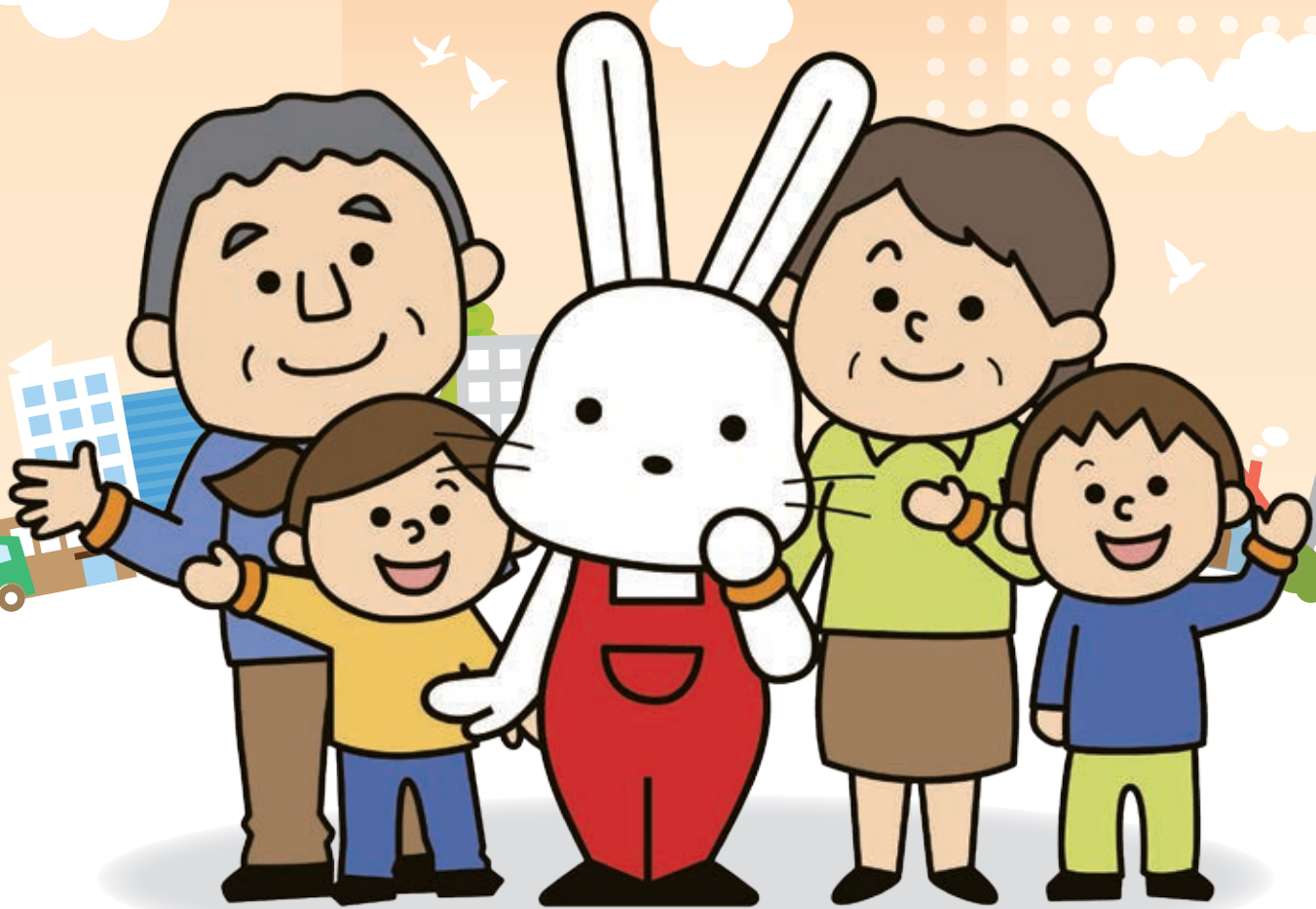
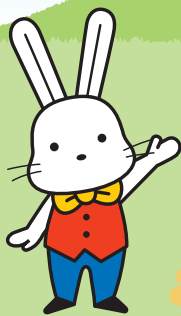


福島市 もの忘れあんしん ガイドブック



令和5年度
～ 福島市認知症ケアパス ～



すべての人が人間として尊ばれ、生きがいを持

認知症の方ご本人と介護者を対象に、「**認知症の人と家族の実態調査** **こころの声アンケート**」を行いました。認知症の方ご本人や家族の思いを「**私のメッセージ**」としてご紹介します。



認知症の人と

9つの私の

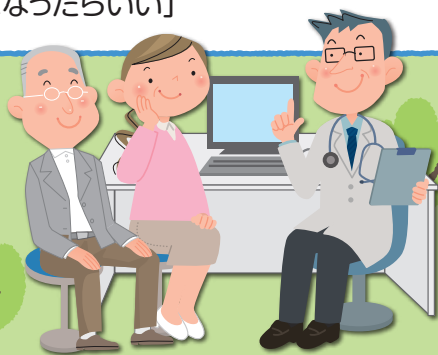
1

認知症に対する周囲の理解

本人「近所の人たちや友人には、ちょっとした優しさや思いやりがあると嬉しい。病気の症状も理解してほしい」

家族「家族だけで介護を抱え込まずに済む地域だといいな。みんなで気にかけてくれるまち」

「母のような認知症の方が集まれる場所や地域の方が認知症を理解して支え合える地域になったらいい」



3

切れ目のない医療と介護

本人「私は困っていることをうまくまとめて医者には言えない。話をしたいと思うが、うまく話せない」

家族「(病院には) 対応の仕方や支援体制などを紹介してほしかった。自分たちで包括に相談して、サービス開始となったらよいのだけれど…。(そうなるような状況ではない)」



4

地域の一員としての社会参加

本人「新聞店での仕事を行い、社員に声かけや感謝をもらったときに嬉しい」

「近所の方が気にかけて顔を見に来てくれる。おかずのおすそ分けもお互いしている」

2

早めの受診と治療

本人「病院では、治療や進行を防ぐ方法があるのか相談する」

家族「最初に受診したものの忘れ外来では、『年齢だからそうなる、仕方がない』との回答が多く、より不安が高まった」

5

趣味とレクリエーション

本人「月に2回、合唱サークルに参加している」
「1年中野菜を作っている。家族で食べる分だけど、渡すのが楽しみ」

「自分の作った料理を食べておいしいと言われてもらった時や趣味で作っている編み物が完成し、それを人にプレゼントして『ありがとう』と言われてもらった時が嬉しい」



ち、心豊かに、安心して安全に暮らせる長寿社会の実現

その家族の思い

メッセージ



8

身近な相談場所と 安心できる居場所

本人「家族や地域包括支援センター」
「担当ケアマネ、通所介護の職員、婦人会
の仲間、同級生、家族は最後に相談する」
「見守られているからこうしていただくと
思う。でももう隣の奥さんの顔もどんな
だったか思い出せないんだ」
「自分のことを考えてくれてるのは分かる。
みんな優しい」
「(相談できる人は) いません」



6

家族の協力と理解

本人「いつでも夫が側にいてくれることが支えになっている。自分のことを1番理解してくれる人。だから言いたいことを私は言うんだ。黙ってばかりいるより話をして夫にわかってもらいたい。でも私が悪いと思う時もあります」
「協力してくれるのは娘と義理の息子。でも娘はまだ働きたいべ。(娘が仕事を) 定年になるまで頑張って負担をかけないようにしたい」
「旦那さんに誘われて出かけることがうれしい」
「奥さんに迷惑をかけないように健康でいることが励みになっている」

9

若年性認知症の理解

本人「(50代前半のとき) もの忘れがひどくなり職場の上司に受診をすすめられた。産業医に相談し、受診した。デイケアに毎日来ている。スタッフの人がとても良くしてくれる。地域の草むしりは自分が行く。その時、皆さんと雑談する。声をかけられるのは嬉しい」

7

最後まで尊重された生活

本人「買い物に行っても違うものを買ってくる。出かけると行先と違うところへ行ってしまう、戻って来れないなど、自分でもわかっている」
「自分でやれることはやらせてほしい」
家族「認知症(は何もできないという)扱いはしてほしくない。できることはまだまだある」

地域包括支援センター





はじめに

認知症は、誰でも発症する可能性があります。早く気づいて対応することで、その症状を軽減したり、進行を遅らせたりすることができるといわれています。

このガイドブック(認知症ケアパス)は、認知症について不安や悩みを抱えている人やその家族の皆さんが、認知症のことを正しく理解し、早期発見や早期治療につなげていただけるよう、認知症の基礎知識や認知症の方との接し方をわかりやすく掲載しました。

また、「認知症かな?」と不安に思ったとき、身近なかかりつけ医、もしくは近くの医院に相談できるよう「もの忘れ相談医MAP」を福島市医師会の協力により作成し掲載いたしました。

本市では、認知症の人の意思が尊重され、いつまでも住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けることができることを目指し、認知症の人やその家族の人の声を、今後の認知症施策へ活かしていきます。

一人でも多くの皆さんが、さまざまな支援の仕組みを活用し、認知症になっても自分らしい暮らしを長く続けられるよう、このガイドブック(認知症ケアパス)をご活用ください。

福島市長寿福祉課

もくじ

1	認知症を知る.....	5
2	若年性認知症のこと.....	7
3	認知症の主な症状と対応.....	9
4	認知症の受診と治療.....	13
5	日常生活を大事に過ごす5つのポイント....	17
6	ご本人の状態にあわせた相談先やサービスの目安(認知症ケアパス)...	22
7	相談窓口.....	34